

GO GO OTONA! FUN FUN GLAY! GO GO OTONA!

大人のヘアカラー &
ブリーチ攻略本

LOVE
HAIR-COLOR!!

白髪を
隠すも生かすも
あなた次第ね♪



薬剤選定のいろはを
理論から学ぼう

大人のココロをつかむ
カウンセリング術を身に付けよう

最小限のダメージで 理想の髪色をつくろう

もう白髪が伸びてきた。
そろそろ染めないと。
ああ、面倒くさい！
—— 大人世代の女性たちにとって
ヘアカラーが、
〰️白髪を染めるだけのもの〰️
になっているのなら、
なんて悲しいことでしょう！
大人へは大人専用の
ヘアカラー&ブリーチテクニックで、
白髪と上手にお付き合いしながら、
もっと自由に髪色を楽しめるはず。
それをかなえられるのは、
ほかならぬ、この本を開いてくださった、
あ・な・た♡
一緒に大人ヘアカラーを習得し、
街中のマダムを
あなたの虜にしちゃいましょう！

固定概念を捨てて
自由なヘアカラーを
提案しよう

大人のための
ブリーチテクニックを
習得しよう

FUNFUN GRAY! GOGO OTONA FUNFUN GRA

大人こそ
ヘアカラーが
楽しい！

この明るいヘアカラー、		
今スグお友達に		
自慢したい！		

こんな髪色に		
チャレンジできるなんて		
思ってたなかったわ！		



髪もそんなに傷まないのね

白髪が目立たないし、
ヘアカラーってステキ♪

GOGO OTONA FUNFUN GRAY! GOGO OTONA

大人のヘアカラー & ブリーチ攻略本

CONTENT



第 1 章

大人の髪が直面する
「ダメージ」と「白髪」のこと

P10

第 2 章

髪を染める薬剤と髪色を抜く薬剤の種類と違い

P18

「ヘアカラー剤」を使い分けよう！

P20

「脱染・脱色剤」を使い分けよう！

P26

第 3 章

大人に寄り添うヘアカラーカウンセリング術

P28

第 5 章

白髪を生かすヘアカラー デザイン&テクニック

P74

脱染・脱色剤を使いこなそう

P76

ヘアカラー剤を使いこなそう

P80

塗る順番について考える

P84

ハイライトの入れ方バリエーション

P88

白髪を生かすヘアカラーデザイン #1

P92

白髪を生かすヘアカラーデザイン #2

P104

column

長期提案のコツは？

P116

第 4 章

白髪を隠すヘアカラー デザイン&テクニック

P34

グレイカラー剤の塗り方

P36

タイムコントロールについて考えよう

P40

白髪を隠すときのハイ&ローライト活用術

P44

白髪を隠すヘアカラーデザイン #1

P48

白髪を隠すヘアカラーデザイン #2

P60

column

色を長持ちさせるためには？

P72

第 6 章

大人ヘアカラーとその他の施術

P118

「処理剤」の知識を身につけよう

P120

パーマとの同日施術について考える

P126

サロン&
デザイナーリスト

P152

メーカーリスト

P153

column

ホームカラーとどう折り合いをつける？

P130

第 1 章

ABOUT OTONA HAIR

大人の髪が直面する 「ダメージ」と「白髪」のこと

まず、お伝えしたい。
「大人の髪は弱い！」
ということ。しかし、
臆することなかれ！ヘ
アカラー施術によつて
大人の毛髪内で何が
起こるか知っておけば、
対策できるのだから。
加えて、大人ヘアカラー
と切っても切り離せない
「白髪」が生える仕組
みについてもご紹介。



毛髪って
なかなか複雑なつくりを
しているのねー！



まずはじめに

毛髪の 基本構造

エイジングによる
毛髪の変化について学ぶ前に、
毛髪がどんな構造を
しているのか
おさらいしておこう。

髪の内部

コルテックス領域

コルテックス領域は、「コルテックス」とコルテックス同士を接着させる「CMC」からなる。コルテックス領域は毛髪の85～90%を占め、水分を保持し、毛髪の強度やコシ、髪色（コルテックス内にあるメラニン色素による）、透明感やツヤ感を決定する。

（コルテックス）

コルテックスは、髪色を決定するメラニン色素と、毛髪内の水分を一定に保つNMF（天然保湿因子）を保持。



（CMC）

CMCは、コルテックス間・キューティクル間に存在し、コルテックス同士、キューティクル同士を接着する働きを持つ。また、水や薬剤の通り道になっている。

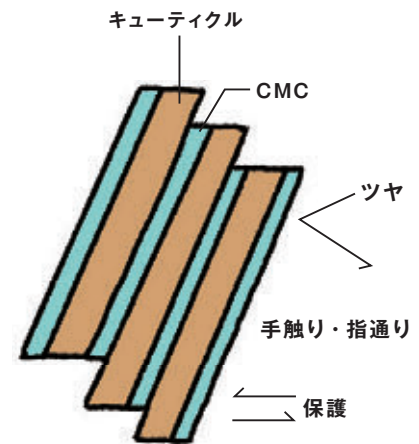
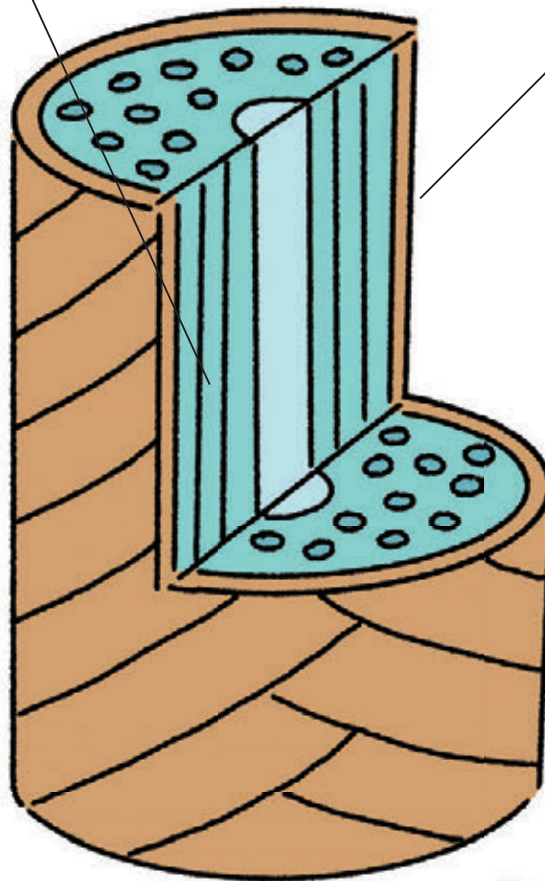
今まで色がついていた毛髪に色が付かなくなる「白髪」の不思議を解き明かそう！秘密は、メラニン色素の親玉・メラノサイトや色素幹細胞が握っているみたい。

→ 白髪編（P15）で詳しく解説！

髪を守る

キューティクル領域

キューティクル領域は、「キューティクル」とキューティクル同士を接着する「CMC」からなる。キューティクル領域は毛髪全体の10～15%を占め、毛髪のツヤや手触り、硬さを決定する。また、ブラッシングなどの物理的な刺激および、水や薬剤などの科学的刺激から毛髪内部を保護する。



硬さ＝キューティクルの重なる枚数
硬毛：7～10枚／軟毛：3～5枚

エイジングによって、キューティクルの枚数が減少するらしい！？さらに、CMCの接着力が低下することによってキューティクルがはがれやすくなるって……こりや大変だ！

→ ダメージ編（P12）で詳しく解説！

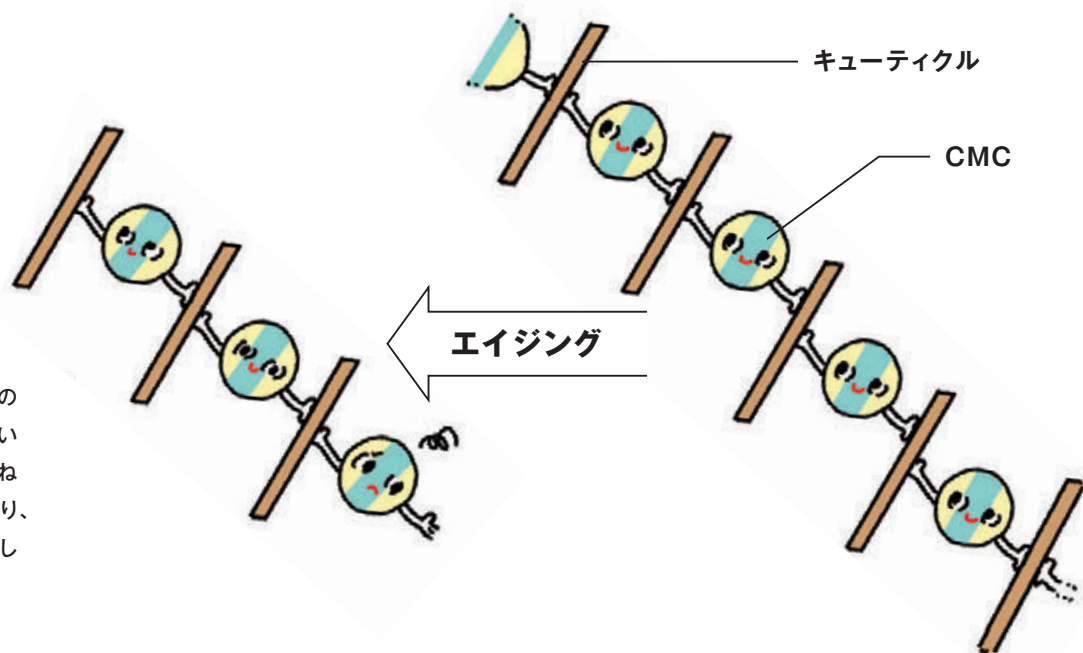
受け入れよう

エイジングによって毛髪の何が変化するの？

年を重ねるにつれて、毛髪内部ではこんなことが起こっていたのだ！

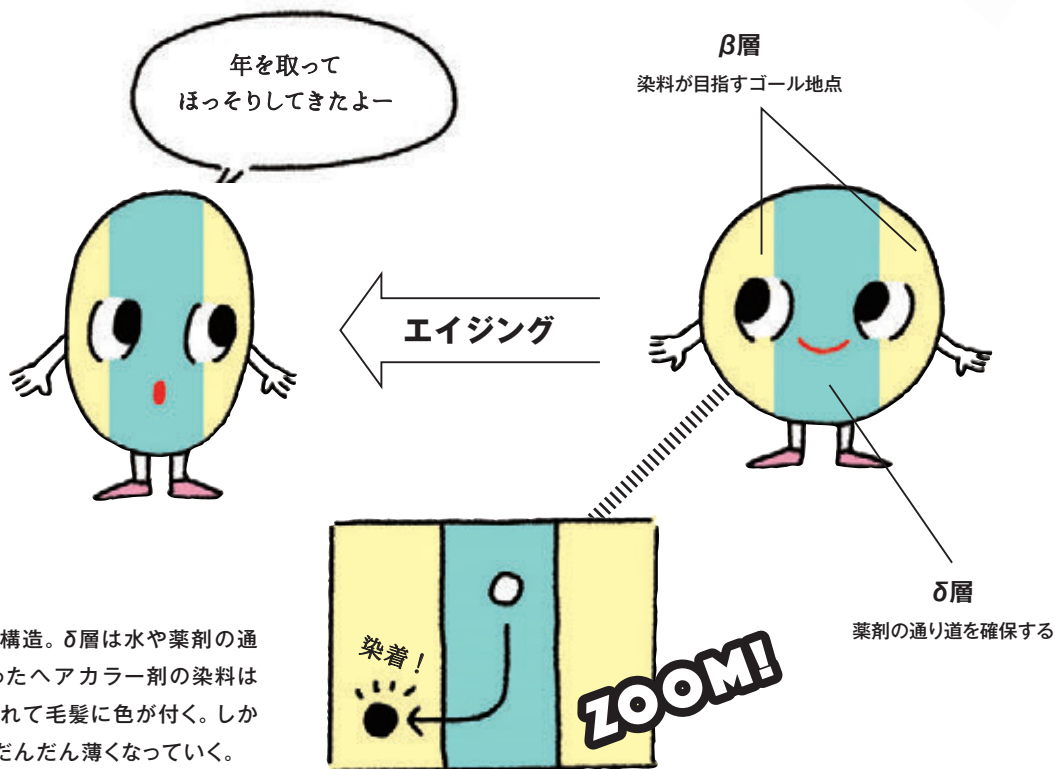
キューティクルの減少

ツヤやハリ・コシ、指通りの良し悪しに大きく関わっているキューティクル。年を重ねるにしたがって枚数が減り、毛先に向かってさらに減少しやすい傾向に。



CMCのβ層が薄くなる

CMCはβ層・δ層・β層の3層構造。δ層は水や薬剤の通リ道の役割を果たし、δ層を通ったヘアカラー剤の染料はオイル層であるβ層に染着。晴れて毛髪に色が付く。しかしβ層は、エイジングによってだんだん薄くなっていく。

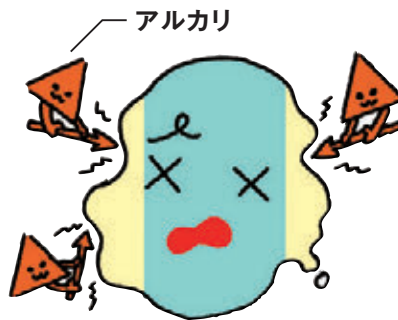


おそろしや……

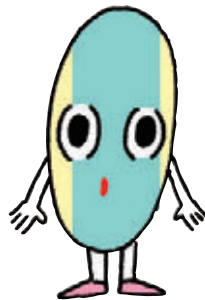
エイジング毛に アルカリカラー剤で カラーリングすると……

では、毛髪内が変化した
エイジング毛にケアせずに
カラーリングすると
どんなことが起こるのか？

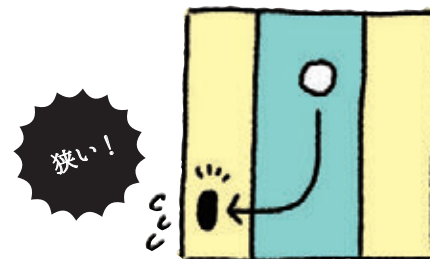
実はCMCのβ層はアルカリ剤にとっても弱い。だから、アルカリカラーに含まれるアルカリ剤は、β層を流出させてしまう。



エイジングによってもともと薄くなっていたβ層が、アルカリ剤によってさらに薄く。CMCは見事に堪えないげっそり具合に！



コルテックスでは

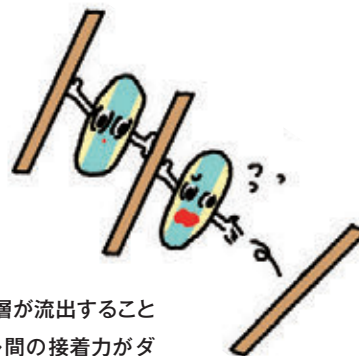


β層は、δ層を通過してたどり着いた染料が染着する場所。その部分が薄くなるとことは、染料が染着する場所が限定され、毛髪が染まりにくくなってしまうということ。

**毛髪が
染まりにくくなる**

キューティクルでは

**キューティクルが
はがれやすくなる**



また、CMCのβ層が流出することでキューティクル間の接着力がダウン。エイジングによって少なくなっていたキューティクルが、小さな刺激でもべろっとはがれやすい状態に。

なんてこと……
CMCへの被害が
大きすぎるわ！



第 2 章

BASIC OF HAIR DYE

髪を染める薬剤と 髪色を抜く薬剤の種類と違い

繊細な大人の髪には、
的確な薬剤選定を。そ
のためには、基本的薬
剤知識が必要不可欠。
染料がそれぞれどんな
特徴を持っているのか、
また大人ヘアカラーで
も活用したいブリーチ
剤、ライトナー、脱染
剤にはどんな違いがあ
るのか、ここでいった
んおさらいだ！



P.20

「ヘアカラー剤」を使い分けよう！
各染料は、どうやって大人の髪を染めるのだろうか？

P.26

「脱染・脱色剤」を使い分けよう！
ブリーチ剤、ライトナー、脱染剤……違いを教えてください！

「ヘアカラー剤」を使い分けよう!

主な染料の特徴

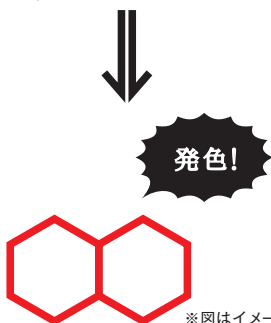
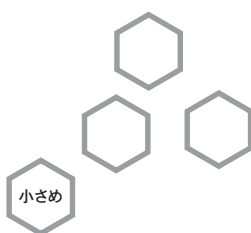
大人の毛髪を美しくカラーリングするために、まずは各ヘアカラー剤がどのように毛髪を染めるのか、その違いを知ることから始めよう。

染料・その一

酸化染料

主にアルカリカラーなど酸化染毛剤に使用

1剤だけの状態では、酸化染料は結合しておらず、発色していない。
分子径が小さく毛髪内に浸透しやすい状態。



※図はイメージ

毛髪内に浸透した後、2剤に含まれる過酸化水素の酸化力で酸化染料が結合し、酸化重合体となって発色。結合したことで高分子化し、毛髪内に留まりやすくなる。

酸化染毛剤（アルカリカラー）などに使用される染料で、1剤に含まれている。低分子であるため毛髪内部まで浸透しやすいが、毛髪内部で酸化重合すると高分子化するので流出しにくくなるのが特徴。

大人のための酸化染毛剤

Q&A

微／弱アルカリカラーって何？

A 通常のアルカリカラーと比較したとき、アルカリ含有量が少ないという意味。

ファッションカラーとグレイカラーの違いは？

A 現在のグレイカラーは、日本人の毛髪のアンダートーンに近い、赤みのブラウンベースにつくられていることが多い

白髪なし

明度・彩度・色相差
ほぼなし



希望の明度よりやや高くリフトアップし、染料を入れるファッションカラーでカラーリング

白髪あり

明度・彩度・色相差
大きい！



20年ほど前

黒髪をしっかりとリフトアップし、染料を入れることで黒髪と白髪の差をなくすグレイカラーが主流

現在

日本人の黒髪のアンダートーンに近い、赤みのブラウンベースのグレイカラーで、色相と彩度の差を埋める

微／弱アルカリカラーとは、いわゆる「既染毛用」で、通常のアルカリカラーほどリフトアップ力や発色力を求めないときに使用する。毛髪へのダメージが通常のアルカリカラーよりも抑えられるのが特徴。通常のアルカリカラーよりpHが低いため「微アルカリ／弱アルカリ／低アルカリ」などいくつか呼び方があるが、共通の規定はない。

ファッションカラーは「目指す明度よりやや高くリフトアップしながら」「染料を入れる（発色することで明度が下がり、最終的に目指す明度になる）」設計になっている。白髪のないほぼ均一な明度・彩度・色相の毛髪をワントーンに染めるなら、これでOK。しかし、白髪が生えている場合は、白髪と黒髪の明度・彩度・色相の差が大きいため、それらの差をいかに埋めるかがグレイカラーの第一命題だ。ひと昔前は、黒髪をしっかりとリフトアップしつつ染料を入れるグレイカラーが多かった。そのため、ファッションカラーよりもリフトアップ力が高く、それだけダメージも大きかった。しかし近年は、明度ではなく、彩度と色相に着目し、白髪の彩度と色相を黒髪に近づけるため、日本人の黒髪のアンダートーンに近い赤みのブラウンをベースにしたグレイカラーが主流だ。これにより、リフトアップ力（＝ダメージ度合）は以前と比較するとかなり低減された。

「脱染・脱色剤」を使い分けよう！

ブリーチ剤、ライトナー、脱染剤の違い

毛髪の色を抜くときに使用する3つの薬剤。それらの適した使い方を
知っておけば大人に使うのも怖くない！

ヘアカラーの
色素をアタック！

脱染剤

もともと毛髪が持つ
メラニン色素のみを破壊

脱色剤

ライトナーなど

脱染力も脱色力も
ナンバーワン！

脱染・脱色剤

パウダーブリーチなど

アルカリ剤

(弱)

+ 過硫酸塩

活性化

過酸化水素

1 剤

2 剤

前回までのヘアカラーの色素を破壊
することが目的。右の2つより弱い
アルカリ剤と過硫酸塩で過酸化水素
を活性化させ、メラニン色素の破壊
力は抑えた設計になっている。

アルカリ剤

(強)

+ 過硫酸塩

活性化

過酸化水素

1 剤

2 剤

パウダーブリーチなどとの違いは、
アルカリ剤だけで過酸化水素を活性
化すること。その分、パワーが劣り、
メラニン色素は破壊できるが、ヘア
カラー色素までは破壊できない。

アルカリ剤

(強)

+ 過硫酸塩

活性化

過酸化水素

1 剤

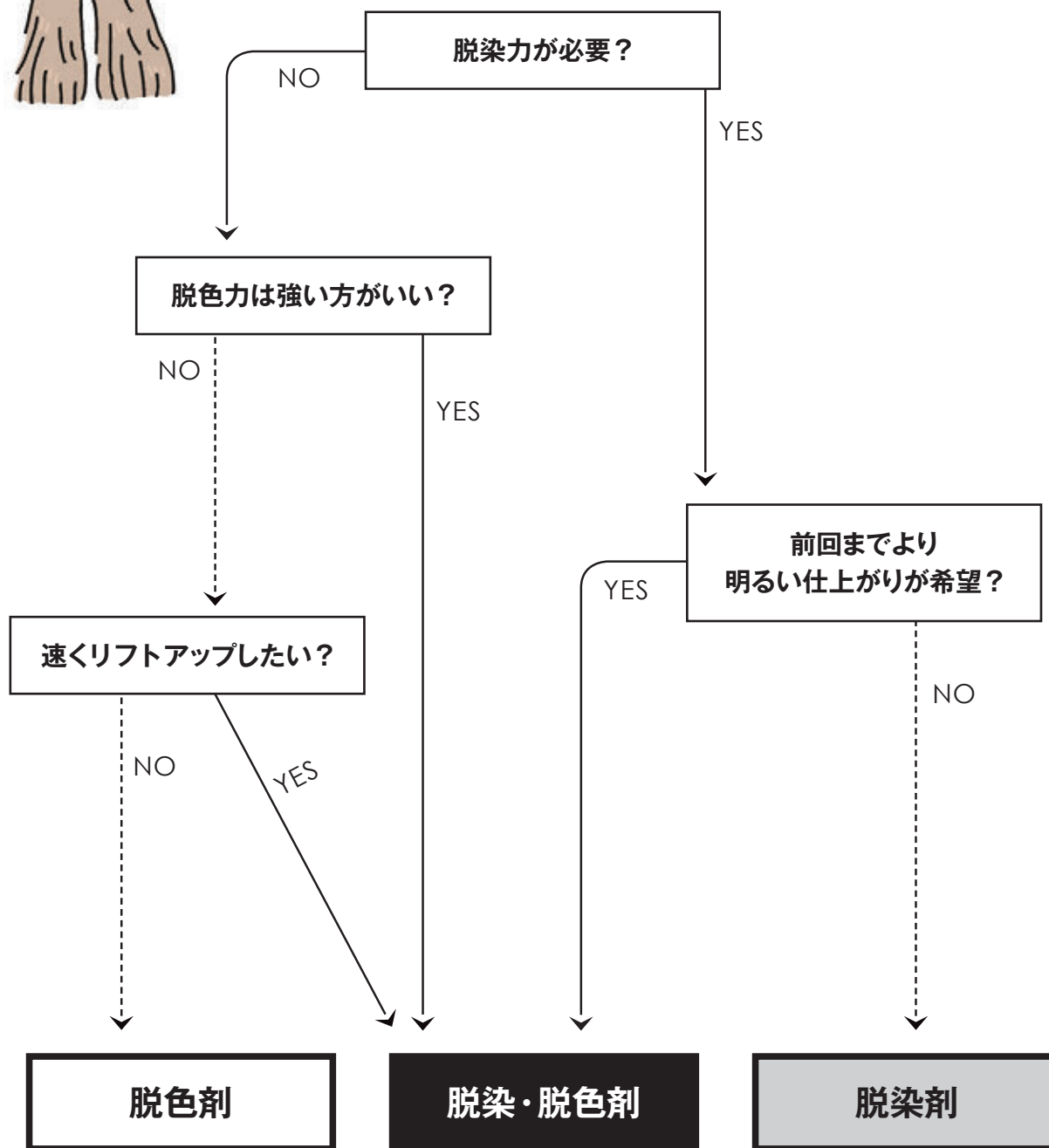
2 剤

アルカリ剤と過硫酸塩が過酸化水素
を活性化するため、強力な酸化力を
持っている。毛髪がもともと持っている
メラニン色素も、ヘアカラーの色
素も破壊することができる。



(使い分けチャート)

START



第 3 章

HAIR COLOR COUNSELING

大人に寄り添う ヘアカラーカウンセリング術

とってもすてきなあの
人だって、白髪と向き合
う心はやっぱりデリケ
ート。だから美容師と
して、そんなお客さま
心理に寄り添った接客
とカウンセリングをした
い。そして、お客さまに
一歩踏み出す勇気と最
高の提案を届けよう！

白髪を気にする
お客さまのデリケートな心、
もっと知りたいわ！



白髪と向き合う、 大人女性の心理を知ろう

大人のお客さまは、
いつもどんなことを考えていて、
何に不安や疑問を
感じているのだろうか？

「ハイライト」？ それって何？

美容専門用語がお客さまに通じない「あるある」。大人のお客さまに「白髪を生かすハイライト施術」をおすすめしたいと思っても、そもそも「ハイライト」といった用語や、どういうものなのかを知らないことも多いので、分かりやすい言葉で説明したほうが良い。裏を返せば、ハイライト等をまだ試したことがないという証なので、その良さを伝えられるようなカウンセリングを心掛けたい。

白髪染めが、 もっと長持ちすればいいのに……

若者ならば「褪色を楽しむレシビ」も多いし、ちょっとプリン状態になってもかえっておしゃれかもしれない。でも、グレイカラーの褪色はあまりきれいとは言えないもの。そして新生部には新たな白髪が……。だから、長持ち&新生部が伸びても白髪が目立たない施術は、全大人の願いなのだ。

周りの意見は 無視できないの……

家庭に入っている人も多かったり、子供の学校行事があったり、定年退職してご近所とのお付き合いが増えたりなど、家族や周囲の目が気になる状況に置かれやすいのが、大人の女性。ヘアデザインで冒険したい気持ちはあっても、自分だけでその足を踏み出すのは、現実的に難しいことが多い。ヘアカラーなどの新しい施術をすすめる際は、結論を急がずに、時間をかけて検討してもらうようにしよう。

ブリーチ？ 傷むんじゃないの？

ほとんどの大人女性にとって、「ブリーチ＝脱色＝まっキンキン」というイメージ。髪の毛を傷ませるもの、というイメージが強く、まさか、自身がそれを経験する日が来るとは、予想もしていない人が多い。ブリーチを使ったグレイカラー施術を提案するときは、いきなり「ブリーチ」という言葉は出さず、ヘアデザインや白髪に関するお悩み解決として提案する流れから繰り出すのが得策。

大人の女性が白髪やヘアカラーに対して抱えているさまざまな思い。忘れてはならないのは、上記の心理の根本には「加齢から来る髪や頭皮の衰え」への悩みや「傷ませたくない」という強い気持ちがあるということだ。若い人と比べてその気持ちは強い。だから、そのデリケートな心を傷つけないように、ヘアカラーのカウンセリング&施術を行なっていく。次ページからは、その一例を紹介する。

I WANT TO HIDE!

あなたは**隠す**派？

白髪が生えていることを他人に絶対知られたくない、美意識の高い「隠す」派の女性たち。そんな彼女たちに、**真つ黒な**グレイカラーのみで応えていては、あまりに野暮。なぜなら髪色は、その持ち主に寄り添って、もっと自由に表現されるべきだから。白髪をしつかり隠しながら、透明感や立体感を出したり、色を楽しんだりできるんだと、皆さんが先陣切って宣言して！



I WANT TO USE!

あなたは**生かす**派？

これまで、白髪は隠すものかしら思っていた私。でも、本当は気づいてた。「これも私なのに！」って……。そう、白髪は大人の女性にとって、紛れもなく生きてきた証。そのすてきな素材を生かして、お客さまがまだ知らない世界に導いたら、美容師冥利に尽きるというもの！ 白髪を「生かす」術を覚えて、さらに、あの人らしいスタイルを生み出そう。



次章から、白髪を隠す／生かすためのテクニックが盛りだくさん！

第4章

ENJOY HIDING GRAY

白髪を隠すヘアカラー デザイン&テクニック

グレイカラー剤で髪を真っ黒に染めて白髪を隠すだけの時代は終わった。他の多様なヘアカラー剤を使いこなせば、白髪を隠すことも髪色を楽しむこともあきらめなくていい！白髪なんてなかったことにして、大人のお客さまが胸躍らせるヘアカラーを提供できるように、腕を磨くべし。

わたくしを
エレガントに
彩ってくださる？



P.36

STEP 1 グレイカラー剤の塗り方

白髪を隠す必須アイテム・グレイカラー剤を使いこなそう

P.40

STEP 2 タイムコントロールについて考えよう

ヘアカラー施術で重要な「放置時間」、もう迷わない！

P.44

STEP 3 白髪を隠すときのハイ＆ローライト活用術

ハイ＆ローライトの可能性は、無限大！

P.48

白髪を隠すヘアカラーデザイン #1 by CANAAN

白髪を確実にカバーしつつ、透明感のある色を実現する

シンプルプロセスのヘアカラーデザインを公開！

P.60

白髪を隠すヘアカラーデザイン #2 by DADA CuBiC

ファーストグレイ世代へ捧げるオシャレなヘアカラーデザインが満載♪

P.72

COLUMN 色を長持ちさせるためには？

髪を染めたからには、もちろん長く楽しみたい！対策は？

STEP

1

グレイカラー剤の塗り方

グレイカラー剤を使いこなすための知識と技術が、白髪を隠すヘアデザインには欠かせない。ただやみくもに全頭に塗るのではなく、必要な部分に適した方法で塗布することが大切だ。

—— これを学ぼう! ——

グレイカラー剤の適した取扱い方をおさらいしよう!

しっかり染まるグレイカラー剤の塗り方を修得しよう!

既染部に使用する薬剤の種類を知ろう!

美容師だからこそできる
グレイカラーを!

技術解説

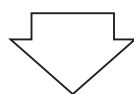
吉村英美 [DADA CuBiC]



アルカリカラーのグレイカラー剤の使いどころ

よく「大は小をかねる」と言うけれど、アルカリ性酸化染毛剤のグレイカラー剤においては、それは当てはまらない。グレイカラー剤を塗布する部分はできるだけ少ない方がベターなのだ。

毎回グレイカラーを**全体**
根元～毛先に塗っていない？



絶対NG！
それではホームカラーと一緒に！

理由1

傷むから

ファッションカラー剤と同様、「アルカリカラー」であるグレイカラー剤にはアルカリが含まれていることを意識しよう。本当は新生部のみでいいのに、すでに

前回までの施術で白髪が染まっている既染部までそれで染めると、毛先にダメージが蓄積していくことに。弱い大人の髪では、かなり危険なこと。

理由2

濃い色素がどんどん蓄積するから

グレイカラー剤は、高明度の白髪をしっかり染め、その色を長持ちさせるためにベースカラーとしてブラウン系の染料が入っていることがほとんど。それを毛先まで

毎回塗り続けると、毛先に染料がたまり、髪色はどんどん暗くなる。ブラウン系の染料は脱染しにくく、カラーチェンジやトーンアップの希望もかなえにくくなる。

≫ アルカリカラーのグレイカラー剤は基本
新生部のみに塗るのが◎

グレイカラー塗布時は これを意識しよう

グレイカラー剤をただ白髪に塗布するだけでは落第点。白髪を確実に染めるためにいつもよりていねいな塗布を心がけることが、お客さまの安心感につながる。



02 薬剤は **適量をしっかり塗る**

塗る量もファッションカラー剤塗布時とは意識的に変えよう。細かく取ったパネルに、適量のグレイカラー剤をしっかりと乗せることで、染まりにくい白髪にしっかり染料を入れていく。



01 パネルを **細かく取る**

白髪は撥水しやすい＝染まりにくいことを前提にグレイカラー剤を塗布していくことが大切。まずは、パネルを細かく取り、薬剤を髪1本1本にしっかりとのせることができるようにしておく。



04 **しっかり30分間** 放置する

グレイカラーの色素を毛髪内部に浸透させ、発色させることで、よく染まり、色も長持ちする。そのため、放置時間はファッションカラーよりも長めに、30分はとるようにする。



03 特にもみあげは **表裏に塗る**

塗り漏れや塗りムラはグレイカラーにはあってはならない。パネルの表からグレイカラー剤を塗布したら、裏からも塗布して念入りに。特に染まりにくい部分であるもみあげは徹底してこれを行なう。



お客さまが気にしている部分から塗布する

鏡を見たときに自分で確認しやすい部分の白髪は特に気になるもので、一刻も早く染めてほしいと思っているはず。まずは顔周りやトップの

分け目などお客さま自身から見えやすいところから染めていき、お客さまに「白髪を染めている」という安心感を与えよう。

既染部にはどんな選択肢がある？

「既染部はグレイカラー剤で染めてはいけない」というけれど、既染部もメンテナンスしたい！できるだけダメージを与えずに既染部を染めるための薬剤の選び方とは？

微／弱アルカリカラー

褪色した既染部に染料のみを補給する



通常のアルカリカラーよりアルカリ含有量の少ない微／弱アルカリカラーなら、最小限のダメージで既染部のカラーリングが可能。リフトアップ力は

ほぼなく、発色力も通常のアルカリカラーには劣るが、褪色した既染部に色素のみを補給する目的で使用するため、問題なし。

ヘアマニキュア

ツヤ感がほしいときに使用



酸性染毛料であるマニキュアは、アルカリが入っていないので、髪にアルカリによるダメージを与えることなく染めることができる。ツヤ感

が出るのが特徴。ただし、アルカリカラーのように染料を毛髪内部まで浸透させるわけではなく、表面付近に染着させるため褪色しやすい。

カラーリングしない

ヘアカラーをお休みして、ダメージケアを



もし色を乗せる必要がなければ、カラーリングをしないという選択肢もある。その代わり、グレイカラーなどによるダメージをケアするトリートメントやボ

タニカルカラーなどで、髪の状態を良くする提案。髪の状態を健やかに保つことが、美しいヘアカラーを長持ちさせることにつながる。

YOSHIMURA'S COMMENT

他人から見たら「全然白髪なんて生えてない」と思っても、当の本人からしたら白髪が1本生えているだけで気になって仕方がないはず。それをホーム

カラーで染めさせたら、美容師の負け。的確な薬剤選定と塗り分けて、どれだけ美しく、ダメージレスに白髪を染めていけるかが美容師の腕の見せ所ですよ！

クリアに輝き、やさしさを感じさせる
大人仕様の暖色

DESIGN 01

hair design
Hidehiro
Nagasaki
[CANAAAN]
make-up
Kiyota Arakaki
[CANAAAN]
photo
Seiji Takahashi
[JOSEI MODE]

白髪を隠す
ヘアカラーデザイン #1

BY CANAAN

ナチュラルハイライトが
深みのあるベージュをつくりだす

DESIGN 02

hair design
Hidehiro
Nagasaki
[CANAN]
make-up
Yuto Moriyama
[CANAN]
photo
Seiji Takahashi
[JOSEI MODE]



ほしい色みをかなえて確実に白髪を「隠す」 ブリーチ&ヘアカラーの掟

白髪は隠したいけれど、決して、髪色を暗く見せたいわけではない。
そんなお客さまの願望をかなえるために必要なテクニックと考え方を紹介する。

脱染・脱色のポイント

POINT 2

ハイライトを入れるタイミングは
白髪率によって決まる

白髪率が……



低い

高い

白髪率が15%以下の人は、ハイライトを入れる毛束の中に、白髪が含まれる可能性が低いので、ハイライトを先に入れて、ホイロンのまま全体のベースを塗っていく。

白髪率が20%以上の人は、ウェーピング施術でハイライトを入れるときに白髪を拾ってしまう可能性が高い。まずは、リタッチ&ベースカラーを塗布し、水洗後、改めてハイライトで「抜き直す」と良い。

POINT 1

ブリーチは部位によって
異なる薬剤を用意する

後半に塗る部分は、
アルカリ度「強め」に！



先に塗る部分は、
アルカリ度「弱め」で！

ブリーチを使う場合、美しい仕上がりのためには、均一なリフトが理想。薬剤は、強さの異なる2種類をあらかじめ用意し、前半に塗布する部分と後半に塗布する部分でそれぞれ使い分けて、最終的な明るさを全頭でそろえたい。また、「隠す」施術においては、基本的には色素を抜き切らないのがポイント。

白髪を「隠す」施術においては、ブリーチが登場する場面は限られていますが、うまく使えば大人の髪に明るさをもたらし、透明感のあるヘアカラーに仕上げるのに役立ちます。ポイントは、強すぎない配合の薬剤で、「色素を残す」ハイライトを入れること！



カラーリングのポイント

POINT 2

ノンアルカリ+クリア剤で ツヤも手触りも発色も！

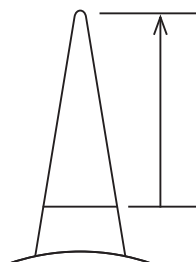
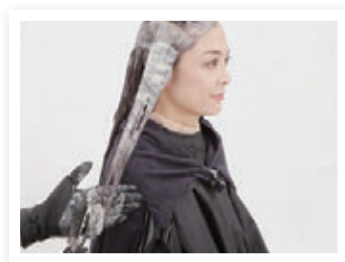
アルカリカラー履歴があることが多い中間～毛先には、できるだけ新たにアルカリによる負荷をかけたくない。だから、ノンアルカリカラーや微アルカリカラーを使い、さらにクリア剤を組み合わせで減力する。これにより毛先の色の沈み込みも防ぐことができる。



POINT 3

エイジング毛にはワンタッチで 毛先まで塗りきる！

POINT2を行なうときは、中間、毛先で異なる薬を使用してツータッチ、スリータッチで塗り分けるよりも、毛先まで一気に塗る方が仕上がりが計算しやすい。全て同じ薬剤を使って、30分の放置時間を、しっかりとることで、美しく染まりあがる。



特にグレイカラー剤を使うときは、放置時間が30分より短いと染まらず、逆に超えると沈みやすいので時間を守ることも大事。

POINT 1

均一に色を表現するためのテクニック 「包み倒し」でチェックいらず！

ワンメイクにおいて、均一な色表現をするには、まんべんなく塗布して、かつ薬剤の力を最大限に引き出すことでしっかり発色させなければならない。そのための技が「包み倒し」。ペーパー等を張って髪を抑え込まなくても、塗布の仕方ひとつで、しっかりと毛束同士を密着させることができる。



リタッチ後、パネルをコーミングして平らにしてから、薬剤を中間～毛先まで塗布する。



塗布後、パネルの下に手を添えながら再び毛先までコーミングして、パネルを平らにする。



平らにしたパネルをバック方向に倒し、ハケで根元を押さえつけて頭に密着させる。これを繰り返す。



「包み倒し」で塗布していけば、長めのロングであっても、均一な色彩表現が可能になる。

FINISH

グレイカラー 履歴を乗り越える 計画的時短プロセス!

グレイカラー履歴が重なり、残留色素の多い人に透明感ある色を提供するには、これから紹介するトリプルプロセスが有効。順序立てた施術が、結果的に時短を実現する。

BEFORE



細毛の直毛。髪質は軟らかめ。数回にわたるグレイカラーの履歴があり、直近では1カ月前に施術したブラウン系のグレイカラーが褪せし、現在の明度は9レベル。

AFTER



施術前の9レベルから大きく明度を変化させることなく、白髪をカバー＆透明感のある暖色に。

白髪率は20%で、特にトップに集中している。新生部は1センチ。

PLAN

計画的レシピで時短トリプルプロセス

カラーリング

ノンアルカリとクリア剤で
透明感のあるベージュに

既染部は、ノンアルカリのグレイカラーに、クリア剤を組み合わせ、ダメージを抑えつつ、透明感のある色をのせていく。大人に似合うベージュをにがらせず発色させて、程よく鮮やかに。



ノンアルカリカラー

クリア剤

ハイライト

2つのブリーチを組み合わせ、
既染部を目立たなくする

既染部にはブラウン系グレイカラーの染料が蓄積している。全体にブリーチをするとダメージが心配なので、表面にのみハイライトを入れて対処。強さの異なる2種類のブリーチを使い分ける。



弱いブリーチ

少し強いブリーチ

リタッチ

グレージュ系の薬剤で
白髪を確実にカバー

新生部には、8レベルに設定したグレージュ系のグレイカラーを塗り、白髪をカバー。8レベルは、髪へのダメージが穏やかで、次回以降のカラーチェンジも容易な明度。



アルカリグレイカラー

根元のリタッチ



塗布を終えた状態。30分放置後、水洗。



その他の箇所の根元にもリタッチを進めていく。

白髪率が高いときは
トップから塗る

白髪率の高いお客さまをリタッチする場合は、白髪をしっかりカバーしたいので、特に目立つトップから塗布していく。お客さまからも見えやすいので「染めている」という安心感を与えることができる。



グレージュ系のグレイカラーAを、根元1センチの既染部に塗布。トップのパートから開始。

ハイライト



ハイライトの施術を終えた状態。15分放置後、水洗。

塗布する箇所によって
使う薬剤を変える

今回は、左サイドからハイライトを入れた。先に塗る左サイドは、減力したブリーチ剤を、右サイドは通常のブリーチを使用した。施術の時間差を埋め、明度をそろえるのが狙い。



弱めのブリーチ剤Bと、通常のブリーチ剤Cを使って、幅・間隔3ミリ、深さ5ミリの三角チップで、表面とサイドにハイライトを入れていく。

カラーリング



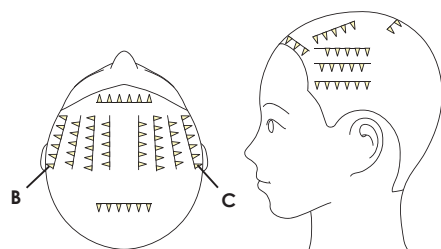
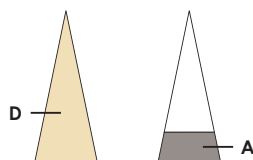
ノンアルカリカラーとクリア剤を組み合わせてDをつくり、髪が濡れた状態で全頭に塗布。ウェットにすることで、手早く、まんべんなく塗布できる。

クリア剤を使ってダメージ軽減

既染部には極力アルカリカラーを使わずに、ダメージを軽減したい。デザインとして見える表面のみに最小限の枚数で入れたハイライトに、アルカリダメージの心配がないノンアルカリカラーとクリア剤でページュをかぶせる。



リタッチとハイライト施術を終えた状態。表面のハイライトによって、ベースの色は変わらずとも全体的に明度が上がったように見える。



PROCESS

根元にアルカリカラーAを塗布、30分放置後水洗。表面にブリーチ剤BとCでハイライトを入れ、15分放置後、水洗。全頭にノンアルカリカラーDを塗布し、30分放置後、水洗。

RECIPE

- A 根元 ミルボン「オルディーブ クリスタル」c7GgB:c9GgB=1:1+6%
- B ハイライト1 ミルボン「オルディーブ アディクシー」ハイブリーチ: +3% (2倍)
- C ハイライト2 ミルボン「オルディーブ アディクシー」ハイブリーチ+6% (2.5倍)
- D カラーリング 資生堂プロフェッショナル「プリミエンス エンリッチ」PBe:CLa=1:1+4.5%

ハイライトの履歴も 怖くないカラーレシビ

ブリーチによるハイライトの履歴があるお客さまには、次のヘアカラーデザインをどう考えていいか、迷ってしまいそう。ならばいっそのこと、「やさしい」ハイライトで上書きしてしまおう。

BEFORE



髪質は硬めの直毛。太さは普通。前回のヘアカラーが褪色して、ベースは9レベルのブラウン系で、表面に11レベルのハイライトが残っている状態。

AFTER



ブリーチで10レベルのハイライトを入れ直し、ベースは8レベルのグレイージュに。

白髪率は10%で、トップに集中している。新生部は2センチ。

PLAN

“やさしい”ブリーチ＋トナーで時短プロセス！

トナー

ベースと同色をかぶせて
全体の色みをなじませる

水洗した後、ベースと同じくグレイージュ系のトナーを全体にかぶせる。ハイライトとベースの明度差をさらに縮め、さりげない大人のハイライトを目指す。

ベースカラー

2種類のグレイージュで
既染部と根元をカバー

新生部には8レベル、既染部には9レベルの、グレイージュ系のノンアルカリカラーを使ってダメージ対策。さらに根元は過水濃度を上げて、色素が深く入り込むようにする。

ハイライト

力の弱いブリーチで
「抜き切らない」ハイライトを施す

白髪を「隠す」施術においては、ハイライトはあまり目立たせすぎず、自然な陰影として生かしたい。今回は、ベースと同時に塗るため放置時間が長くなるので、あらかじめ減力した薬剤を使用。



トナー



ノンアルカリカラー

+



ノンアルカリカラー



弱いブリーチ

ハイライト

減力したブリーチで
ベースとの同時施術

このまま、ベースカラーの
施術に入る。放置時間を長
くするため、ブリーチはやや
減力したものを使用。さら
に、「抜き切らない」ブリー
チを表面に施して、さりげ
ない陰影をつくる。



ホイルワーク終了。表面を中心に、ウイ
ーピングによるハイライトを施した。



減力したブリーチAでハイライト施術。
深さ5ミリ、幅・間隔3ミリのウイー
ピングで塗布していく。

ベースカラー



ベースを全て塗り終わった状態。30分
放置。

中間～毛先はダメージを
軽減する配合に

根元と同じグレイッシュ系
で、より明るい薬剤を使
用。ノンアルカリカラ
ーを使い、さらに過水濃度
を根元よりも下げて、色
みをしっかり出しつつダ
メージを抑えている。



次に、グレイッシュ系のノンアルカリカラ
ーCを、ベースの中間～毛先に塗布。



ホイルオンしたまま、グレイッシュ系のノ
ンアルカリカラーBを、ベースの根元
に塗布してリタッチ。

トナー



08で色が入ってきたら毛先にもDを被せ
る。5分程度時間が経ったら、水洗。



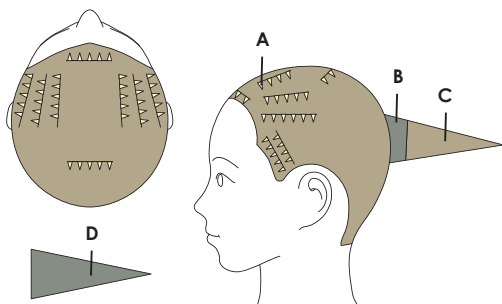
根元～中間まで、グレイッシュ系のDを被
せていく。



シャンプーボウルにお湯を少しため、
毛先をその中につけて薬剤が入り込
むのを防ぐ。



シャンプー台で、ブリーチのついた箇所
にアルカリカラーをつけないよう、ペ
ースの薬剤を乳化したあと、ホイルを外し
て水洗。



PROCESS

Aでハイライト塗布
後、ホイルをつけた
ままベースカラーB
とCを塗布。30分放
置後、水洗。シャンプ
ー台でDをつけ、5分
放置後、水洗。

RECIPE

- A ハイライト シュワルツコフ「ファイバーブレックス パウダーブリーチ」+4.5% (2倍)
- B ベースカラー (根元) ミルボン「オルディーブ クリスタル」C7GgB : C9GgB = 1 : 1+6%
- C ベースカラー (中間～毛先) ミルボン「オルディーブ クリスタル」C9GgB/n +4.5%
- D トナー 「オルディーブ クリスタル」C9GgB/n : C7GgB = 1 : 1+4.5%

第 5 章

HAPPY TO DESIGN GRAY

白髪を生かすヘアカラー デザイン&テクニック

白髪が生えてきたら、アンハッピー？ 考え方を換えれば、超ラッキー♪ なぜならば、白はどんな色にも染められるから。白髪の良さを最大限に発揮させるために必要なのが「ブリーチ」。これから必須になるであろう大人向けブリーチ技術、習得しておいて損はなし！



P.76

STEP 1 脱染・脱色剤を使いこなそう

まずは、大人向けブリーチ技術のきほんのきをどうぞ

P.80

STEP 2 ヘアカラー剤を使いこなそう

美しい色は、ヘアカラー剤のセレクトが超重要なのだ！

P.84

STEP 3 塗る順番について考える

リタッチ、ハイライト、ベースカラーを塗る順番、どうしたら？

P.88

STEP 4 ハイライトの入れ方バリエーション

ハイライトデザインを考えるためのさまざまな例をご紹介します

P.92

白髪を生かすヘアカラーデザイン #1 by imaii

白髪を生かすのが初めての人からブラチナムの人までハイライトで美しく！

P.104

白髪を生かすヘアカラーデザイン #2 by ZA/ZA

大人のヘアカラーってとても自由！色を存分に楽しむためのいろはを大公開

P.116

COLUMN 長期提案のコツは？

白髪を生かすのは1日してならず！計画的な提案を♪

STEP

1

脱染・脱色剤を使いこなそう

白髪を生かすヘアカラーの第1ステップは、黒髪をリフトアップして明るくベースの分量を増やすこと。しかし、方法を誤ると髪をさらに傷めることに。まずは、大人への施術に適した脱染・脱色剤の使い方についてマスターしよう。

—— これを学ぼう! ——

各脱染・脱色剤の使いどころを知ろう!

大人の髪に適した薬剤選定術を修得しよう!

薬剤それぞれの特徴をデザインに生かそう!

薬剤を使いこなせば
大人のブリーチも
怖くない!

技術解説

瀧本明貴子 [ZA/ZA]



大前提として

大人の髪を 一気に明るくしようとするべからず！

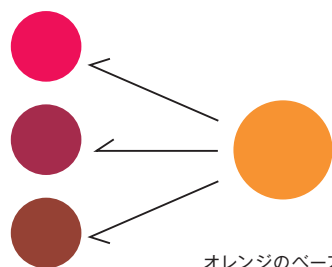
白髪を生かすヘアカラーを始めるために、黒髪をしっかり明るくしていこうと意気込んでいるあなた！白髪を生かすヘアカラーは、1日にしてならず。結果を急いでも、良いことはひとつもない。

理由

3

「オレンジ」は決して悪くない！
それを生かしたヘアカラーに

美容師もお客さまも、ブリーチ後の赤みやオレンジっぽさを嫌う人が多いが、大人にとって残留した暖色は、意外と良い仕事してくれる。大人の髪には欠かせないツヤ感を演出したり、血色の良い肌に見せてくれたりするからだ。明るいベースができあがるまでは、髪を持つ暖色をポジティブに捉え、ヘアカラーデザインに生かしていこう。



オレンジのベースから、こっくりとしたツヤ感ボルドーや周りとの差をつけるオシャレなくすみピンクなど、大人が喜ぶ暖色系カラーをつくることができる。

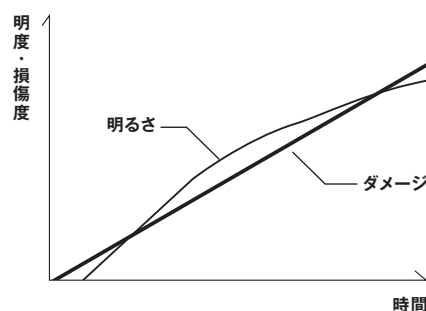
理由

2

無理にリフトアップすると取り返しのつかないダメージにつながる

思うように色が抜けないからと、放置時間を延ばしたり、再ブリーチをししたりする人もいられるかもしれない。しかし、大人の髪はダメージに弱い。無茶してブリーチすれば、髪はボロボロになって見た目も手触りも悪化し、ヘアカラーもすぐに褪色……なんてことになりかねない。ブリーチはできれば1回で、放置時間中もこまめに髪の状態をチェックしよう。

ブリーチ剤の効果と髪の負担 (イメージ)



ブリーチ剤は、一定時間置くと脱染・脱色力は低下するが、髪にはダメージを与え続ける。「もう少し、もう少し」と無駄に放置しすぎないように気を付けよう。

理由

1

グレイカラーの濃い染料が
髪に蓄積している

白髪を生かすヘアカラーを始めて間もないお客さまの髪は、それまでのグレイカラーの色素が蓄積している状態。グレイカラーは、ブリーチしても残留しやすい濃いブラウンの色素が入っている場合がほとんど。だから、1回のブリーチでは色が抜けきらないのを前提にヘアカラーデザインを考え、お客さまにもそのことをきちんと説明しておく。



グレイカラーをしていた人のブリーチ施術前後。オレンジブラウンの色素が残っているが、これでOK。お客さまに「変な色になっちゃった!」と思われないように、事前に説明しておこう。

結論

明るいベースが完成するのは最低半年～1年かかる。
少しずつリフトアップしていき、その過程も楽しもう！

脱染、脱色剤 いつ、どうやって使う？

ここからは、瀧本さん流の脱染・脱色剤の使い分けについてご紹介。ダメージやゴールのデザインを見越した的確な薬剤選定で、大人の髪色を明るくしていこう。

（ 瀧本さんのスタメン ）



脱染剤

既染部の染料をはがす。明度はほどほどに上がればOK

メラニンを削って明度を上げたいわけではなく、あくまで上にのっている染料だけを脱染するときに使用。グレイカラーの蓄積を少しでも削りたいときや、以前は明るいヘアカラーをしていた髪の染料を取り除くときに最適。

クリームブリーチ

穏やかで、ゆっくりとした脱染・脱色を求めるときに

瀧本さんの経験上、クリームブリーチの方がパウダーブリーチより脱染・脱色のスピードがゆるやか。ハイライトなど時間のかかる施術の最初に使用したり、やや穏やかなブリーチ力でリフトアップしたい部位に使用する（メーカーにより成分やリフト力は異なる）。

パウダーブリーチ

しっかりリフトアップしたいときはコレ！

3つの中で最も脱染・脱色力が強いのがパウダーブリーチ。また、作用のスピードも速いので、短時間でしっかり色を抜きたいとき、高明度な仕上がりを求めるとき、蓄積した既染部の染料をできる限り取り除きたいときに使用する。



。。 2剤で調整

リフトアップの力は2剤も握っている。これはアルカリカラーと同じ考え方で、2剤の濃度を下げればリフトアップの力を軽減することができる。主流は6%だが、瀧本さんは4.5%、3%も使用することがあるそう。

。。。 処理剤で調整

処理剤は、ブリーチ剤のダメージから髪を守ると同時に、特に前処理に関してはブリーチの作用を穏やかにする役割もある。繊細な大人の髪にブリーチをするときは、処理剤の使い方も大きなカギになる。

。。。 放置時間で調整

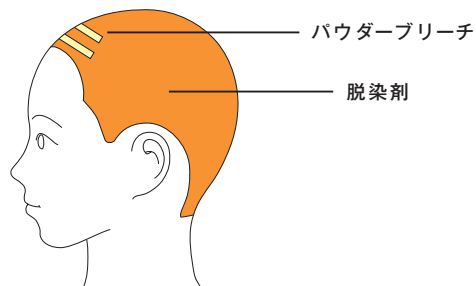
もちろん規定の時間を超えて放置するのはNGだが、「ここまで明度が上がればOK」と思ったら、そこですぐに流すことも大事。そのために、スタッフ間で目標の明度を共有し、こまめに髪の状態をチェックしよう。

（ 白髪を生かすための脱染・脱色剤使用例 ）

ケース 2

ベースは **脱染剤**、
白髪が多い部分は **パウダーブリーチ**

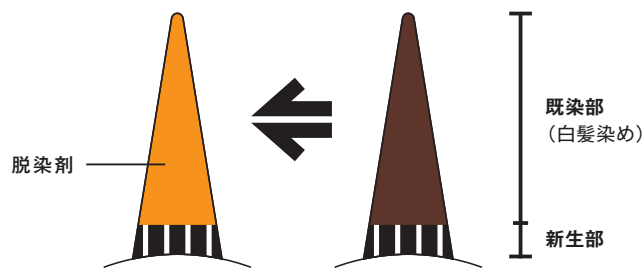
ケース1と同様に、ベースは今までの濃い染料を取り除きたい場合の使用例。異なるのは、白髪が多い部分にパウダーブリーチを使用していること。白髪が多い部分の黒髪を、ハイライトを入れて白髪をぼかしながらデザインする面積を育てて、明るさや色を楽しめるように、周辺をパウダーブリーチで明るくしておくこともある。



ケース 1

グレイカラーの染料を
脱染剤 ではがす

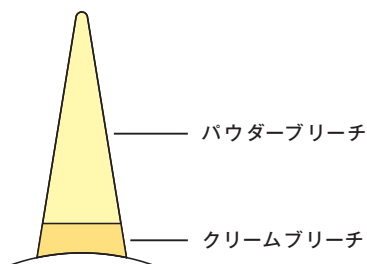
白髪を生かすヘアカラーを始めるときに最初にしたいのは、今までのおせてきた濃いグレイカラーの染料をはがすこと。そんなタイミングで使いたいのが脱染剤。明度を上げるといよりはまずは染料を取り除きたい、できる限り髪への負担を少なく済ませたいときは、脱染剤を使ってみよう。



ケース 4

根元には薬剤が留まる **クリーム**
その他は **パウダー** でリフトアップ

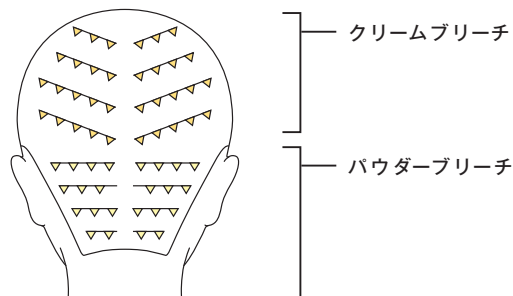
広範囲をブリーチするときに、新生部もある程度リフトアップしたいけれど頭皮からはみ出たり、一気にリフトするのが心配なときは、パウダーブリーチではなくクリームブリーチを使うのがおすすめ。クリームブリーチには油が含まれているため、新生部の乾燥も抑えてくれる。目的に合わせて使い分けよう。



ケース 3

時間がかかる施術で
クリーム／パウダーブリーチ 併用

白髪をぼかすために全頭に細かくハイライトを入れることがあるが、時間がかかる施術のため、最初に入れた部分と最後に入れた部分の放置時間の差がかなり開いてしまう。そんなときは、リフトのスピードの違いを利用し、前半に施術する部分はクリームタイプ、後半からはパウダータイプを使用すると◎。



**DESIGN
01**

hair color
Takashi Okura
[imaii]

hair design
Harukazu Ishihara
[imaii]

make-up
Fumiko Oyamada
[imaii]

photo
Seiji Takahashi
[JOSEI MODE]

3層のグラデーションがかなえる
大人のプレミアムカラー

白髪を生かす
ヘアカラーデザイン #1

BY imaii

ハイライトでデザインを加えた
白髪を生かした透明感カラー

DESIGN 02

hair color
Daisuke Ebato
[imaii]
hair design
Harukazu Ishihara
[imaii]
make-up
Fumiko
Oyamada
[imaii]
photo
Seiji Takahashi
[JOSEI MODE]

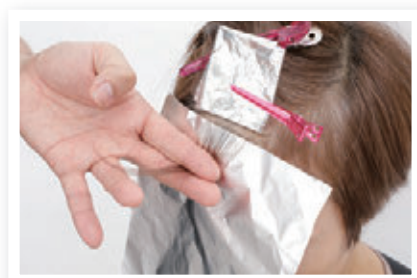
「入門編」からプラチナムまで グレイを生かすデザイン4選

白髪を生かしたヘアカラーを楽しみたい大人が増えている中、
地毛をそのまま生かすのではなく、白髪の量や質感をコントロールし、その人に合ったデザインに
昇華するのがマスト。カラリストならではの、計算された珠玉の4デザインを提案！

ブリーチのポイント

POINT 2

薄めのスライスで
均一にトーンアップ

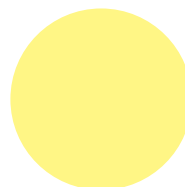


ブリーチ施術を繰り返すと頭皮にも髪にもダメージが大きいので、1回で白髪と馴染む明るさ（16レベル以上）まで明度を上げたい。そこで、厚さ（深さ）1ミリ程度の薄めのスライスを取り、薬剤を塗布する。厚みがあるほど1つのパネルの中に明度差が出てしまい、まだらな仕上がりにになってしまうので注意。

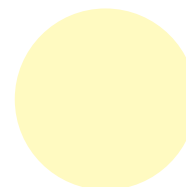
POINT 1

白髪と馴染ませるには
16レベル以上の明るさに

14レベル以下
白髪と馴染まない



16レベル以上
白髪と馴染む



白髪を生かすデザインで欠かせないのが、ブリーチによるハイライト施術。「白髪と馴染ませて、デザインとして使う」ためのハイライトは、メラニン色素のない白髪と同程度の16レベル以上の明度が必要になる。対して、「白髪をぼかして、目立たなく」するためのハイライトは、14～13レベル程度の黄み（メラニン色素）が残っている状態でも良い。

DESIGN POINT

2剤の濃度差を利用し
ハイライトの明度に変化をつける

過酸化水素（2剤）の濃度が高いと、ベースのメラニンを分解するパワーが強まり、白髪と同化する透明感のある仕上がりになる。一方、濃度が低いと、リフト力が弱まり、白髪と同化しない深みのある仕上がりになる。ブリーチの過酸化水素の濃度を部分的に変えることで、2色のハイライトがブレンドして、より立体的なデザインが実現する。



→ 1.5%の過酸化水素水

→ 6%の過酸化水素水

カラーリングのポイント

POINT 2

ハイライトで まばらな白髪を整える

白髪がきれいに均一で増えいく人はまれで、多くの人は顔周りや
つむじ周りなど血行の悪い箇所から増えていく傾向だ。そこで、
白髪の量がまばらできれいに見えない箇所に、ハイライトをオン。
明るさが整い白髪が均一に見えて、デザインとして生かせる。



POINT 3

ミドルライトで 大人の髪にツヤ感を与える

大人のグレイカラーに欠かせないのが、ツヤ感。ところが大人の
髪はグレイカラーによる残留ティ
ントなどでバサついて見えること
が多く、とくにハイライトは、白
髪を目立たせなくする効果があ
る一方で、褪色すると黄みが強く
出て、バサつきが目立つ。そこで、
ハイライトに、ツヤ出し効果のあ
るパープル系を「ミドルライト」
(ベースと同じ明度で、やや彩度
が高い色)として重ねると、褪色
してもハイライトが悪目立ちしない。



POINT 1

白髪率や白髪の箇所を考慮して デザインを決める

白髪を生かしたカラーデザインを施す場合、まずは白髪がどこ
にどれくらいあるかをチェックする。全頭80%以上だと、無理な
く高明度の透明感あるプラチナムカラーデザインへと導くこと
ができる。一方、ファーストグレイ世代に多い、白髪率10%未
満のトップや顔まわりにまばらにあるケースは、周辺にハイライ
トを入れて、白髪をデザインとして生かすデザインが有効だ。

全頭に80%以上



白髪に淡い色みを
のせて透明感のある
ヘアカラーに

フロント中心に10%未満



フロントに太めの
ハイ&ローライトを
交互に施し、
立体感を出す



白髪を生かすと言ってもそのまま白髪を伸ばしたままで、何もしないのは当然NGです。大人の
お客さま髪質や白髪の量、そして最も重要な似合わせの目線でしっかり調整し、プロならではの
デザインへと落とし込んでいきましょう。

ミドルライトを取り入れ 抜群のツヤ感と やわらかな立体感を

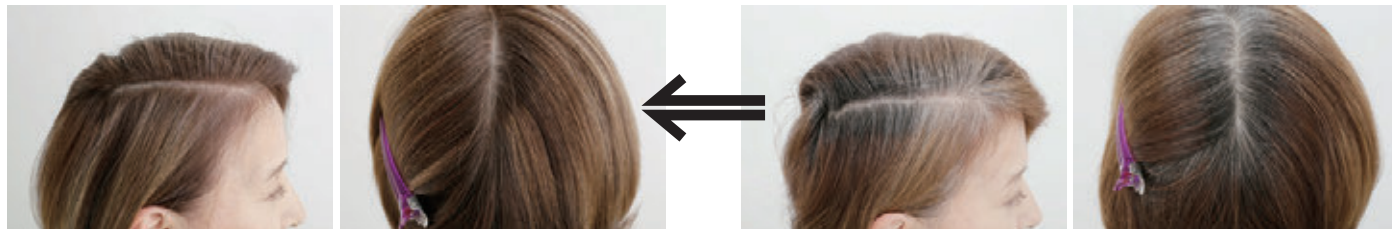
ハイライトとローライトにミドルライトを加えて、大人にピッタリなふんわりとした立体感とツヤやかな質感をかなえたデザインに。折り重なる3層の光が華やかな雰囲気演出する。

BEFORE



新生部は1.5センチ、既染部は9レベルのゴールドベージュ系。毛量は普通で、髪質はやや軟らかく太さは普通。ハチ上にウィーピングでハイライト(ブリーチ)履歴あり。グレイカラーの繰り返しにより、全体にバサつきが目立つ。

AFTER



白髪の多いフロントを中心に、ローライト、ハイライト、ミドルライトの3層を重ねて立体感とツヤ感のある仕上がりに。

白髪率はフロントが60%、サイドが40%、バックが20%。フロント側に行くにつれて徐々に白髪が増えている。

PLAN

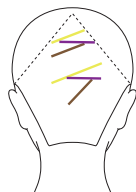
ハイ&ロー&ミドルライトで、ツヤやかで上品な3層カラーに

グレイを生かしたハイライトデザインを続けているが、表面はエイジング毛でベタンとしがちのため、ローライトを入れて陰影をつけて、立体感を出す。さらに、ミドルライトも加えてハイライトとローライトのなじみをよくするとともに、パープル系の色みを選択し、ツヤ出し効果も狙う。

バックゾーン

ミドルやトップゾーンと明るさを合わせるために、バックにもハイライトとミドルライト、ローライトをオン。

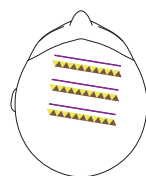
- ハイライトは
根元と毛先をあけて塗布
- ミドルライトは
根元をあけて塗布
- ローライトは
毛先をあけて塗布



トップゾーン

顔まわりはデザインを強調したいため、ハイライトとローライトをバケットバックで入れて明暗を際立たせる。そのハイ&ローの間にはパープル系のミドルライトを入れてツヤ感もしっかりオン。

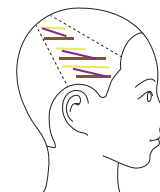
- ハイライトとローライトを
バケットバックで入れる
- ミドルライトは
スライシングで入れる



ミドルゾーン

ハイライトとローライトを橋渡しするようにスライスをとり、ミドルライトをオン。3つの毛束にズレができるように薬剤を塗布することで、3層の明暗が繊細に際立ち、立体的なデザインが完成する。

- ハイライトは
根元と毛先をあけて塗布
- ミドルライトは
根元をあけて塗布
- ローライトは
毛先をあけて塗布



POINT

新生部とダメージを考慮して薬剤塗布する

ハイライト、ミドルライトともに、根元を1.5センチあけるのは、グレイカラー剤を塗布するため。サイドのローライトは白髪が少ない箇所だったので、根元からローライトを入れているが、顔周りに近づくにつれてグレイは増えていくので、根元はグレイカラー剤を塗布。またハイライトは毛先にダメージがある場合は塗布せずに外し、ローライトもデザインによって毛先に暗さを出したくない場合は外す。

POINT

トップに向けて太めのチップへ移行する

フロントのハイ&ローライトは、顔周りを幅3ミリ、深さ5ミリのチップの細めのチップをとるが、トップに向けて幅5ミリ深さ7ミリの太めのチップに移行し、立体感を強調する。

ホイルワーク(ミドルゾーン)



ミドルライトの下に1ミリのスライス間をあけて、厚さ1ミリのスライスを取り、ローライトCを塗布。毛先は1.5センチ残す。



ハイライトの下に1ミリのスライス間をあけて、厚さ1ミリのスライスを取り、根元1.5センチあけてミドルライトBを塗布。



ヘビーサイドのハチ上に、厚さ1ミリのスライスを取りハイライトAを塗布。根元と毛先は1.5センチ残す。



ミドルライトの下に、1ミリのスライス間をあける。厚さ1ミリのスライスを取り、根元を1.5センチ残し、ローライトを入れる。



ハイライトの下に、1ミリのスライス間をあける。厚さ1ミリのスライスを取り、根元を1.5センチ残し、ミドルライトを入れる。



ミドルゾーンの顔周りも厚さ1ミリのスライスを取り、ハイライトを入れる。根元と毛先を1.5センチ残す。

ホイルワーク(トップゾーン)



ローライトの下に厚さ5ミリのスライシングでミドルライトを塗布。

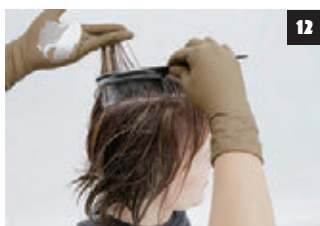


ハイライトの下にバケットバックで、幅5ミリ、深さ7ミリ、間隔3ミリのウィーピングでローライトを塗布。



フロントトップは幅5ミリ、深さ7ミリ、間隔3ミリのウィーピングでハイライトを塗布。

リタッチ～ベースカラー



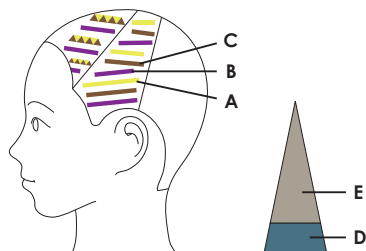
全頭に薬剤Eをゼロテクで塗布し、20分放置後、水洗。



ハイライト、ミドルライト、ローライトが入り、3層の色みがグラデーション状に重なった。



新生部にDを塗布し、30分放置後、水洗。



RECIPE

- A ハイライト／ルベル『エドルブリーチ』パウダーブリーチLB+6%
- B ミドルライト／ウエラ『イルミナカラー』トワイライト8：コーラル10：サファリ10=1：1：2+3%
- C ローライト／ルベル『マテリアμ』WB6μ+3%
- D 新生部／ウエラ『コレストンパーフェクト+』11/17：11/77：9/17=2：1：1=4.5%
- E ベース／ウエラ『イルミナカラー』サファリ10：ヌード10=1：1+3%

第 6 章

AROUND HAIR COLOR

大人ヘアカラーと その他の施術

お客さまにヘアカラー
施術を行なうとき、同
時に心を向けておきた
い「他の施術」がある。
ヘアカラーをダメージ
レスに、美しく仕上げ
るために、そしてひい
てはヘアデザイン全
体がステキであるた
めに！本書の最後にヘ
アカラーと関わりが
深い施術について考
えていく。



P.130

COLUMN

ホームカラーとどう折り合いをつける？

ホームカラーと共存するか、させないための工夫を凝らすか、あなたはどようする？

P.126

STEP 2

パーマとの同日施術について考える

大人の髪に同日施術なんてありえない？
それって本当？

P.120

STEP 1

「処理剤」の知識を身につけよう

普段何気なく使っている「処理剤」の基本的な知識、
ここで身につけよう

「処理剤」の知識を身につけよう

安心・安全な施術のために欠かせない「処理剤」。それは、大人のヘアカラー施術においても例外ではない。普段何気なく使っている処理剤について、この機会に整理してみよう。

—— これを学ぼう! ——

処理剤の使いどころを知ろう!

処理剤の種類を知ろう!

処理剤の使い分け方について知ろう!

処理剤って、 何のために使うの？

処理剤って、いったいどんな目的で使うんだろう。何となく、「髪をダメージから守るため」という感じはするけど……。実は、ヘアカラー施術において、処理剤には重要な目的が主に3つあるのだ。

目的

3

質感をコントロールする

処理剤の種類によって、仕上がりの髪の質感が異なる場合がある。だから、狙うデザインやお客さまの髪質によって、適切な処理剤選びをしなければならない。近年は、ヘアカラー剤に、質感向上のためのケア成分が初めから配合されていることも多い。

目的

2

髪へのダメージを軽減する

どんなに「傷ませない施術」をしていても、ヘアカラー施術において避けられないのが「ダメージ」。だから、髪の負担をできるだけ防ぐために、薬剤選定やプロセス選びと併せて処理剤を活用することが大切。

目的

1

ベースを整えて発色と色持ちを良くする

ヘアカラーを美しく仕上げたいのは当然のこと。しかし、髪が傷んでダメージホールがあると、せっかく入れ込んだ染料が施術中も施術後も、抜けてしまうことがある。処理剤でその「穴」を埋めて、美しい発色と色持ちのための土台をつくる必要がある。

さらに

大人の場合は……

S-S 結合の弱い エイジング毛の強度 を上げる

グレイカラーの 酸化重合を促進 させる（ヘマチンの場合）

処理剤には どんな種類があるの？

処理剤にはいろいろな種類があるけれど、果たして、どんなものを使ったら良いのだろうか。まずは、数ある処理剤の種類を整理し、その働きについて知ろう。

ここでは、処理剤に使われる成分で、代表的、あるいは近年よく使われるものを紹介する。この違いを把握すれば、処理剤選びがもっと楽になるはず！

成分による違い(主なもの)

【ヘマチン】

→ ヘアカラーの塗布時や
後処理で大活躍！

中間処理で使用すれば、ヘアカラー成分の酸化重合を促進して発色を良くしてくれる。また、後処理においては、活性酸素と結びつき、過酸化水素の除去をする作用がある。

【CMC系】

→ ダメージホールをカバーする

CMCは、「細胞膜複合体」といって、もともと毛髪の内部に含まれている成分。ダメージホールの間を埋め、色持ちをアップしてくれる。

(コレステロール)

高い保護力を持ち
手触りも良くする

親油性(油分が浸透しやすい性質)の毛髪に対して、高い保護効果をもたらす。滑らかでやわらかい質感に仕上げる作用もあり、セラミドとは使用後の髪の手触りが異なる。

(セラミド)

親水性の部分に働き
潤いある手触りに

親水性(水分がいきわたりやすい性質)の毛髪に対して高い効果をもたらす。薬剤の作用から髪を守り、ダメージも補修。しっとりとうるおいのある手触りに仕上げる効果もある。

(コラーゲンPPT)

土台づくりとともに、
保湿効果も備えた成分

前処理においては、ダメージ部分を補修して、ヘアカラー施術の土台をつくり、また、新たな薬剤のダメージから保護もしてくれる。親水性が高く、しっとりとした仕上がりに。

(ケラチンPPT)

髪の土台をつくる
タンパク質の一種

シスチンを多く含み、毛髪に近いアミノ酸組成を持つタンパク質で羊毛由来の成分。中間処理においては、毛髪内部からのタンパク質の流出を防ぐ作用も。

【 PPT系 】

→ 髪の土台をつくるために
働いてくれる

健康な毛髪のために欠かせない、髪の土台をつくってくれる成分。ここで紹介する「コラーゲン」、「ケラチン」のほかに、「ダイズ」「シルク」「コムギ」などさまざまな成分由来のPPTがある。

【 カタラーゼ 】

→ 過水除去のための
強い味方！

動物、植物、細菌、カビ由来の成分。ヘアカラーの乳化時などの中間処理、または後処理に使用することで、残留過酸化水素を分解・除去する。

【 ポリフェノール 】

→ 毛髪の傷んだ部分に
吸着して「守る」！

中間処理や後処理で使用することで、毛髪の傷んだ部分に吸着し、疎水性をアップ。キトサン同様「疑似キューティクル」として機能し、成分の流出や外部からの刺激を防ぐ。

【 カキタンニン 】

→ ヘアカラーの気になる
ニオイを除去する

柿の果実からの抽出成分。ヘアカラー時のさまざまな悪臭に反応して消臭効果を発揮。もともと、ヘアカラー剤などに含まれることのあった成分だが、近年は処理剤として単体での販売も多い。

【 マレイン酸 】 (ジカルボン酸)

→ 髪の強度を増す
近年大注目の成分

還元剤やヘアカラー等の過酸化水素の作用から毛髪を保護する。また、S-S結合をサポートして髪の強度を高め、エイジング毛にもハリコシを増加させる効果がある。

【 キトフィルマー 】 (キトサン)

→ ダメージを補修する
疑似キューティクル

カニの甲殻からつくられる成分で、ダメージによって剥がれてしまったキューティクルを補う。髪の外側を強くすることで、浸透した成分が流出しにくくなる。

処理剤には、さまざまな剤形がある。成分の特性と組み合わせ、剤形の特性も視野に入れて、適材適所の処理剤選びを心がけよう。

剤形による違い

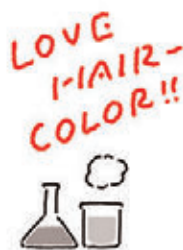
【 クリーム 】

特に油分を多く含む処理剤に多い剤状（タンパク質系の製品もあり）。同じクリーム系の薬剤等と組み合わせると、扱いやすい。髪につけても液ダレの心配がないので、施術の状況に応じてこのタイプを選ぶと良い。

【 液体 】

タンパク質系の処理剤を中心に、ほぼ全ての処理成分に適した剤状。使いどころもオールマイティで、他の薬剤との相性も良い。前髪等に塗布するときには、飛び散りやすいので不向きというデメリットも。

大人のヘアカラー & ブリーチ攻略本



定価 3,500円+税
発行日 2019年10月25日
発行・編集人 寺口昇孝

発行所 株式会社女性モード社

本社 〒161-0033 東京都新宿区下落合 3-15-27

Tel. 03-3953-0111 Fax. 03-3953-0118

大阪支社 〒541-0043 大阪府大阪市中央区高麗橋 1-5-14・603

Tel. 06-6222-5129 Fax. 06-6222-5357

表参道スタジオ 〒151-0001 東京都渋谷区神宮前 3-6-20

Tel. 03-5771-0111・0112 Fax. 03-5771-0113

ブックデザイン : store inc.

イラスト : 徳永明子

印刷・製本 : 昭栄印刷株式会社

本誌に対するご意見、ご感想をお寄せください。 info@j-mode.co.jp <http://www.j-mode.co.jp>

記事・写真等の無断転載を禁じます。 ©JOSEI MODE SHA CO.,LTD.2019

Printed in Japan